

カレイドスコープ

Kaleidoscope 信じられないけれど実際に起こっている世界へ

HOME » 地震・噴火 » 南海トラフ・琉球海溝・30mの津波の超巨大地震の可能性

- NWO
- 経済部
- 日本財団
- 防衛省
- 経産省
- 国土交通省
- 環境省
- 内閣府
- 復興・防災
- アインドコントロール
- ヒックフラスター
- TPP
- メディアの隠蔽
- ウーグルとSNS
- 資料・史料・文
- 人口削減
- GMOとモンサント
- ハンデミック
- 大気汚染・ケムトレイル
- 福島・原発
- 地震・噴火
- サイバー
- 犯罪
- 秘密結社
- HEAL
- 中国
- モリス社
- ルンペン
- アセンション
- レプティリアン
- 次元の壁
- ニュース一覧
- その他

■放射能・地震から身を守る
 原発・放射能、内部被曝、避難・疎開、火山噴火・地震に関する最新記事はアーバンブレッカーへ!



- RSSリンクの表示
- ▶ 最近記事のRSS
 - ▶ 最新コメントのRSS
 - ▶ 最新トラックバックのRSS

検索フォーム

検索

- リンクー反グローバリズム
 (日)は日本語サイト。(英)は英語サイト
- ▶ Hang The Bankers
 - ▶ NWO Observer
 - ▶ NWO Observer
 - ▶ Matt Taibbi
 - ▶ (英)globalresearch.ca
 - ▶ 日本人が知らない 恐るべき真実
 - ▶ The Globalist

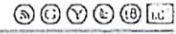
リンクー原発・放射能

スイス放射性粒子拡散予測

2016/4/21 15:15

福島県立医科大学敷地内の外気放射線量リアルタイム計測値(リロードで30秒毎更新)

Sat.2012.06.23



地震・噴火
南海トラフ・琉球海溝・30mの津波の超巨大地震の可能性

「出てきた値が最大だと思っている。そうではなく、もっと大きくなる危険性のほうが大きい」

3.11以降、マスメディアは、次々と巨大地震を警告する特番を組み始めました。
 この番組は、南海トラフから琉球海溝を結ぶ長さ1000kmを超える海底断層で、30mを超える津波をともなう超巨大地震が起こる可能性を警告しています。

後々の資料のために、キャプチャーを取っておきます。

20120621 超巨大地震の痕跡 30mを超える津波対策

web master

Author:ダンディ・ハリマオ
 ようこそ、陰謀の迷宮へーいま、あなたに仕掛けられた壮大な罠を快刀乱麻を断つがごとく解き明かす!

TPP 批准すれば日本完全終了!

TPPに隠された本当の恐怖について明らかにした危険過ぎるシナリオ
 吉米地 英人 (著) ¥648

STOP TPP!! 官邸前アクション

毎月第一火曜日は官邸前にGO!
 みんなでTPPを止めよう!

メルマガお申し込み

有料メルマガのカードでのお申し込みはこちらからです。
 初回お申し込みの月の月末までは無料です。

プロマガお申込み

有料メルマガの銀行振込、コンビニの電子マネーでのお申し込みはこちらからです。

最新記事

- ▶ 安倍晋三、菅義偉が「激甚災害指定」しない理由 (04/20)



福島第一原発周辺環境放射線量

- ▶ 福島第一原発カメラ (LIVE)
- ▶ JNN福島第一原発カメラ (LIVE)
- ▶ 福島第一原発毎日のプレスリリース
- ▶ 都道府県別放射線測定サイト
- ▶ スイスの粒子拡散予測
- ▶ 国会事故調査委員会
- ▶ 村田光平 オフィシャル サイト
- ▶ 全国の原発最新情報
- ▶ 放射性物質拡散予測まとめ
- ▶ 放射線量データまとめ
- ▶ 全国の原発最新情報
- ▶ いろいろな原発から東京までの距離
- ▶ 全国セシウム尿検査結果マップ
- ▶ 全国の空間線量率
- ▶ 東京江戸川放射線
- ▶ パンクーパー食品放射能モニタリング
- ▶ 品川ママ友・放射能情報便
- ▶ サイエンス・メディア・センター
- ▶ 首都圏の放射能汚染
- ▶ 各地の放射線量
- ▶ グリーンアクション
- ▶ 福島第一原発事故に関するリンク集
- ▶ 原発関連天下り先リスト
- ▶ Enformable
- ▶ SimplyInfo
- ▶ Fukushima Voice version 2
- ▶ Fukushima radiation maps
- ▶ FRCSR
- ▶ Fukushima Daiichi Photos
- ▶ Fukushima update
- ▶ Sv/Bq実効線量係数
- ▶ 経口時の年齢換算計算ツール

リンク3ー放射線防護と食



このコンテンツはフレーム内で表示できません

この Web サイトに入力する情報のセキュリティを保護するため、このコンテンツの発行者はフレーム内での表示を許可していません。

対処方法:

- このコンテンツを新しいウィンドウで開く

古館一郎キャスター:

特集です。地震対策を積極的に取材する、山口豊アナウンサーです。お願いいたします。

山口豊アナ:

よろしくお願いたします。

まず、こちらをご覧ください。



こちらは巨大地震発生の恐れが指摘されている南海トラフです。

この地域で、3連動地震が起きた場合、最悪で犠牲者になってしまう方の人数は30万人規模になってしまうとも言われています。

しかし、この南海トラフの南側には、琉球海溝が延びていまして、今、専門家は、この南海トラフと琉球海溝が連動した超巨大地震が起きる恐れがあると指摘しているんですね。



その研究の最前線と、では、対策はどうなっているのか取材しました。

- ▶ 4月15日、参議院で“国民発言禁止法”が可決・成立 (04/19)
- ▶ ネット署名！ 共産党、民進党「川内原発・即時停止申し入れ」 (04/19)
- ▶ 熊本県の支援要請を拒否し、激甚災害指定しない安倍晋三 (04/19)
- ▶ 安倍・河野の「全避難者の屋内避難」が犠牲者を増やした！？ (04/19)
- ▶ 熊本大地震のさなかパーティーにふける安倍内閣の閣僚たち (04/18)
- ▶ 震源は東に移動して四国にまで及ぶのかだろうか (04/17)
- ▶ 頭の体操ー「四国電力・いよく原発はどこにある？」 (04/17)
- ▶ 安倍政権は「熊本巨大地震」をも利用する“血のナチス”政権 (04/16)
- ▶ 「九州でM8クラスの直下型巨大地震が起ころ」と予測していた (04/16)
- ▶ 九州新幹線が脱線するも川内原発は停止させず (04/15)
- ▶ 午後9時26分 九州・熊本市震度7 (04/14)
- ▶ 田母神逮捕からバナマ文書全公開、そして安倍政権の崩壊 (04/14)
- ▶ 「報道ステーション？なにに、そのうち慣れて来るさ」 (04/12)
- ▶ トランプ「避けられない財政ハルマゲドンが迫っている」と断言 (04/11)

これが世界の真相



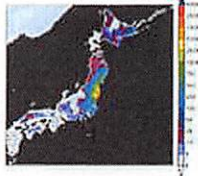
タックスヘイブンの間 世界の富は盗まれている！ ニコラス・シャクソン (著)



原爆と秘密結社 元米陸軍情報特務校が解明した真相 デビッド・J・ディオニシ (著)、平和教育協会 (翻訳)

人工知能とビッグブラザー

セシウム汚染全国マップ



放射能汚染の都道府県格付



食品と暮らしの安全

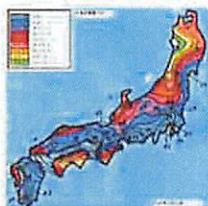
東日本のγ線空間線量率



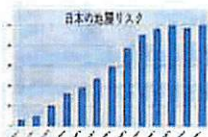
東日本のγ線空間線量率

- ▶ 放射線防護の仕方(緊急時編) - 注釈付
- ▶ 放射線防護の仕方(日常編) - 注釈付
- ▶ 放射線防護の仕方(食品編)
- ▶ チェルノブイリへのかけはし
- ▶ 代々木市民測定所
- ▶ 代々木市民測定所twitter
- ▶ 国際環境NGO FoE Japan
- ▶ 内部被ばくを考える市民研究会
- ▶ 放射能メモ
- ▶ 放射能について正しく学ぼう

リンク4ー地震・津波



日本の地震リスク-1



日本の地震リスク-2

こちらは世界中で利用されている救命艇を製造している工場です。実は、今、こうした救命艇を改造しまして、津波から避難する際に利用する計画が進められているのです。

ナレーション:

救命艇は、本来、大型船に積まれていて、遭難したとき人々が乗り込み、救助を待つ。
繊維強化プラスチックの船体、仮に大波でひっくり返っても、元に戻る性質を持つ。



人工知能と21世紀の資本主義 - サイバー空間と新自由主義 本山美彦 (著)



ビッグデータ・コネクト(文庫) 藤井大洋 (著)



1984年(まんがで読破 MD100) ジョージ・オーウェル (著)

ストップ! 日本の独裁政権

国家の暴走

古賀茂明

国家の暴走 安倍政権の世論操作術 / 古賀 茂明(著)



崖っぷち国家 日本の決断 / 孫崎 享(著), マーティン・ファクラー(著)

「密約法体系」と日本の憲政治



- ▶ Earthquake Prediction
- ▶ World Earthquakes
- ▶ Twi-Japan Earthquakes
- ▶ 地震情報のまとめ速報
- ▶ そなえる 防災
- ▶ 強震モニターLIVE
- ▶ 地震マップ
- ▶ 地震前兆掲示板
- ▶ 防災科学技術研究所
- ▶ 防災科学技術研究所・火山情報
- ▶ 「揺れやすい地盤」診断
- ▶ 日本の地震の地図
- ▶ ハザードラボ
- ▶ 地震解析ラボ
- ▶ HAARP
- ▶ NASA (USA) グローバル TEC マップ [5分毎]
- ▶ 宇宙天気情報センター
- ▶ SpaceWeather.com
- ▶ 気象庁・最近の地震活動 (速報値)
- ▶ USGS
- ▶ ナショナルジオグラフィック公式日本語サイト
- ▶ Flood Map(浸水エリア)
- ▶ Hi-net高感度地震観測網
- ▶ 行徳地震前兆観測プロジェクト
- ▶ 麒麟地震研究所
- ▶ 北海道大学地震火山研究観測センター
- ▶ 木村政昭HP
- ▶ 東海大学・長尾教授
- ▶ 東海大学地震予知研究センター
- ▶ 大地震に備える
- ▶ 地震雲掲示板
- ▶ 宏観亭見聞録
- ▶ リアルタイム地震前兆データ
- ▶ 地震予測Blogウォッチ
- ▶ 地震調査研究推進本部
- ▶ 防災ブログ
- ▶ 津波防災情報図
- ▶ 第三管区津波防災情報図
- ▶ 浸水マップ
- ▶ 液状化予想
- ▶ 東海・東南海・南海地震

リンクスー環境・健康・ワカチン

- ▶ TRUTH FED-YouTube
- ▶ BlaylockReport



火に囲まれても、外側に設置されたスプリンクラーが作動し、延焼を防ぐ。さらに、30m近い高さから落下しても、衝撃に耐えられるほど強固だ。

日本はなぜ、「基地」と「原発」を止められないのか/矢部 宏治 (著)



検証・法治国家崩壊 (「戦後再発見」双書3)
吉田 敏浩 (著), 新原 昭治 (著), 末浪 靖司 (著)

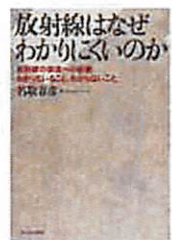


本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」
前田 博盛 (著, 編集), 明田川 融 (著), 石山 永一郎 (著), 矢部 宏治 (著)



戦後史の正体/孫崎 享 (著)

放射線を正しく理解するために



放射線はなぜわかりにくいのかー放射線の健康への影響、わかっていること、わからないこと
名取 春彦 (著)

Educate Yourself



原発ホワイトアウト
若杉 冽 (著)

- ▶ Vactruth.com
- ▶ YES! Magazine
- ▶ LiveScience
- ▶ woods hole oceanographic institution
- ▶ GMWatch
- ▶ Natural News
- ▶ Natural News Blogs
- ▶ Buzz.NaturalNews
- ▶ Natural Society
- ▶ Truther Girls
- ▶ ヘルス・プレス
- ▶ 医者が絶対教えない！健康表情報

リンク6-TPP

- ▶ TPPに反対する弁護士ネットワーク
- ▶ 日本農業新聞・TPP
- ▶ PARC
- ▶ STOP TPP!! 市民アクション
- ▶ STOP TPP!! 官邸前アクション
- ▶ 内田聖子のブログ
- ▶ TPPツイート

リンク7-マーケット

- ▶ 財務省・国債金利情報
- ▶ 国別・米国債保有残高
- ▶ 日銀・営業毎旬報告
- ▶ 証券保管振替機構
- ▶ 外国人保有制限銘柄期中公表
- ▶ World Gold Council
- ▶ リアルタイム金現物価格
- ▶ GDX 金鉱株指数
- ▶ GSR(金銀比価)
- ▶ CCC格付債券・金利
- ▶ フィラデルフィア銀行株指数
- ▶ 欧州600銀行株指数
- ▶ 東証銀行業株価指数
- ▶ 東証REIT指数
- ▶ バルチック海運指数
- ▶ VIX指数
- ▶ sekai-kabuka
- ▶ MarketWatch
- ▶ Business News Network
- ▶ Economy and Markets
- ▶ King World News
- ▶ YUCASEE media
- ▶ GOLDNEWS

山口豊アナ:

ではですね、実際にこれから救命艇の中に入ってみますね。



結構、奥行きがあります。

ナレーション:

定員25名。座席が設置されている。



山口豊アナ:

これ3点式ですね。シートベルトです。

手は、この取っ手を握る感じですね。

体が、大分、屈んでる感じなんですけれども、これで荒波の中を耐えるということになりますね。



ナレーション:

こうした救命艇を改良して、津波避難用に応用しようというのだ。



TPPすぐそこに迫る亡国の罠 郭洋春 (著)



(株)貧困大国アメリカ 堤 未果 (著)



日本テレビとCIA 発掘された「正力ファイル」 有馬 哲夫 (著)



エコノミック・ヒットマン 途上国を食い物にするアメリカ ジョン パーキンス (著)



世界を不幸にしたグローバルバリスムの正体 ジョセフ・E. スティグリッツ (著)



国家の存亡 岡岡 英之 (著)

リンク8ー日本語サイト

- ▶ パブリックコメント募集
- ▶ パブリックコメント書き方
- ▶ JB PRESS
- ▶ Kinora
- ▶ EchoEchanges 言葉の交換
- ▶ 神と悪魔の狭間で...
- ▶ ...just wondering
- ▶ velvetmorning blog
- ▶ マスコミに載らない海外
- ▶ 世界の裏側ニュース
- ▶ 嗚呼、悲しいではないか！
- ▶ ちきゅう座
- ▶ 街の弁護士日記
- ▶ 星の金貨プロジェクト
- ▶ ペラルーシの部屋ブログ
- ▶ ジャーナリスト堤未果のブログ
- ▶ 天野統康のブログ
- ▶ Canada de Nihongo
- ▶ エコーニュース
- ▶ 英国メディア・ウオッチ
- ▶ 雑誌の新聞
- ▶ 哲野イサクの地方見聞録
- ▶ 天木直人・新党憲法9条
- ▶ LITERA(リテラ)
- ▶ trend watcher
- ▶ ジャパン・ハンドラズと国際金融情報
- ▶ 元村謙 ちかちゃん
- ▶ 「ジャーナリスト同盟」通信
- ▶ 独立メディア E-wave
- ▶ 神保哲生ビデオニュース
- ▶ 岩上山身IWJ
- ▶ 田中龍作ジャーナル
- ▶ おしどりマコ
- ▶ 日々坦々
- ▶ 晴耕雨読
- ▶ 金貸しは国家を相手に金を貸す
- ▶ 机の上の空 大沼安史
- ▶ こころのかけはし 政治・経済チーム
- ▶ Internet watch
- ▶ 晴天とら日和
- ▶ olive-X!
- ▶ OutPlanetTV
- ▶ My News Japan
- ▶ フクロウの会
- ▶ 週刊金曜日



最大の津波が34.4mと想定されている高知県などでは、高台への避難では間に合わないため導入が検討されている。



四国運輸局・丸山健一

早く開発を、現物を作るということが、いかに大事かと。



ナレーション:

想定されている東海、東南海、南海地震の震源域は、海側のプレートが沈み込む南海トラフという溝に沿って広がる。



政府は必ず嘘をつく
アメリカの「失われた10年」
が私たちに警告すること
堤未果 (著)



ショック・ドクトリン(上)
惨事便乗型資本主義の正体を暴く
ナオミ・クライン 著



ショック・ドクトリン(下)
惨事便乗型資本主義の正体を暴く
ナオミ・クライン 著



「ネットの自由」vs.著作権
TPPは、終わりの始まりなのか
福井健策著



福島原発の真実
最高幹部の独白



- ▶ 週刊金曜日ちゃんねる
- ▶ DAYS JAPAN
- ▶ リンク9-外国語サイト
- ▶ TRUTH FED-YouTube
- ▶ 21st centurywire
- ▶ Veterans Today
- ▶ DEBKA
- ▶ Stars&Stripes
- ▶ The National Interest
- ▶ The 4th Media
- ▶ Z3 News
- ▶ Jays Analysis
- ▶ MotherJones
- ▶ VOTE NOW
- ▶ Moon of Alabama
- ▶ Coercion Code
- ▶ Zero Hedge
- ▶ Zero Hedge Japan
- ▶ The Common Sense Show
- ▶ Web of Debt
- ▶ Armstrong Economics
- ▶ anonymousmags.com
- ▶ The Daily Coin
- ▶ Infinite Unknown
- ▶ The Vigilant Citizen
- ▶ The Black Vault
- ▶ EXPRESS
- ▶ Alt-Market
- ▶ Event Horizon chronicle
- ▶ Paul Craig Roberts
- ▶ Predictions by William Stickevers
- ▶ Jewish Voice
- ▶ Realist News
- ▶ Daily Kos
- ▶ Ray Pensador
- ▶ globalresearch.ca
- ▶ Michel Chossudovsky - Archive
- ▶ Profit Confidential
- ▶ TED.com 日本語版
- ▶ WEB OF DEBT BLOG
- ▶ Teresa Monroe-Hamilton
- ▶ The Corbett Report
- ▶ Strategic Culture Foundation
- ▶ Cryptome
- ▶ Cryptome on Twitter
- ▶ Daily Sheeple
- ▶ Common Dreams
- ▶ Stop Fema Now!



懸念されるのは、この三つが同時発生することで、最悪の場合、死者は30万人規模になる試算もある。



その被害想定をまとめる河田教授。

中央防災会議専門調査会座長(関西大学社会安全学部) 河田恵昭教授



ひとことで言うと、出てきた値が、みんな最大だと思っているわけね。そうじゃなくて幅があるんですよ。

プロメテウスの罠/明かされなかった福島原発事故の真実

バンダジェフスキー博士・日本語版



小児の各臓器におけるCs-137の侵襲的な取り込み/バンダジェフスキー博士・公式日本語版(無料ダウンロード)へ

命を守るために



チェルノブイリの犯罪(上巻)一核の収容所
ヴラディーミル・チュルトコフ(著), Wladimir Tchertkoff(原著)



チェルノブイリの犯罪(下巻)一核の収容所
ヴラディーミル・チュルトコフ(著), Wladimir Tchertkoff(原著)



放射性セシウムが人体に与える医学的・生物学的影響: チェルノブイリ・原発事故被曝の病理データ
ユーリ・バンダジェフスキー著



低線量内部被曝の脅威—原子炉原子炉周辺の健康破壊と疫学的立証
ジェイ・マーティン・グールド(著) Jay Martin Gould(原著) 肥田 舜太郎

- ▶ [fairewinds associates](#)
- ▶ [ENENEWS.COM](#)
- ▶ [USA TODAY](#)
- ▶ [Business Insider](#)
- ▶ [Greg Palast](#)
- ▶ [Washington's Blog](#)
- ▶ [Before it's News](#)
- ▶ [Sleuth Journal](#)
- ▶ [Pakalert Press](#)
- ▶ [SOEBAT.com](#)
- ▶ [Steve Quayle Alert](#)
- ▶ [SHTF Plan](#)
- ▶ [Off Grid Survival](#)
- ▶ [Modern Survival](#)
- ▶ [Off The Grid News](#)
- ▶ [Survival Pulse](#)
- ▶ [aangirfan](#)
- ▶ [The Electronic Intifada](#)
- ▶ [Project Syndicate](#)
- ▶ [Global Voices](#)
- ▶ [Land Destroyer](#)
- ▶ [New Eastern Outlook](#)
- ▶ [Tony Cartalucci - LocalOrg](#)
- ▶ [Activist Post](#)
- ▶ [The National Interest](#)
- ▶ [Courthouse News Service](#)
- ▶ [Wired](#)
- ▶ [TARPLEY.net](#)
- ▶ [Akio Matsumura](#)
- ▶ [The Atlantean Conspiracy](#)
- ▶ [BlackListed News](#)
- ▶ [DC Bureau](#)
- ▶ [The Economic Collapse](#)
- ▶ [Investment Watch](#)
- ▶ [The Most Important News](#)
- ▶ [The American Dream](#)
- ▶ [Democracy Now!](#)
- ▶ [The Rumor Mill](#)
- ▶ [Educate-Yourself](#)
- ▶ [All News Pipeline](#)
- ▶ [The Vigilant Citizen](#)
- ▶ [StopTheCrime](#)
- ▶ [The Intel Hub](#)
- ▶ [Stew Webb, Federal Whistleblower-Activist](#)
- ▶ [disinformation](#)

リンク10ー世界のメディア

- ▶ [CNBC アジア](#)
- ▶ [NNA・ヨーロッパの経済](#)
- ▶ [The Independent](#)

もっと大きくなる危険性のほうが大きいと思います。

ナレーション:

さらに南海地震の巨大地震にとどまらず、それを上回る超巨大地震が起きる可能性を指摘する専門家がいる。



名古屋大学大学院・地震火山研究センター
古本宗充教授:

(翻訳) 齋藤紀(翻訳) 戸田清 (翻訳) 竹野内真理(翻訳)



終りのない惨劇
ミシェル・フェルネクス著 竹内雅文 (翻訳)

Categories..

- NWO (122)
- 経済崩壊 (113)
- 日本解体阻止 (219)
- 秘密保護法 (13)
- 陰謀 (38)
- 領有権問題 (6)
- 原発・放射能 (310)
- 内部被曝 (65)
- 原発・環境汚染 (14)
- マインドコントロール (31)
- ビッグブラザー (14)
- TPP (56)
- メディアの捏造 (5)
- グーグルとSNS (5)
- 食料・飲料・薬 (13)
- 人口削減 (6)
- GMOとモンサント (16)
- バンデミック (2)
- 大気汚染・ケムトレイル (3)
- 預言・予言 (12)
- 最後の審判 (0)
- 地震・噴火 (102)
- サバイバル (5)
- 悪魔 (11)
- 秘密結社 (8)
- FEMA (6)
- UFO (10)
- キリスト教 (5)
- ルシファー (4)
- アセンション (4)
- レプティリアン (6)
- 次元の壁 (7)
- ニュース一般 (16)
- その他 (27)

カテゴリー+月別アーカイブ

全記事数 1273 件

月別アーカイブ

カテゴリー

全記事表示リンク

全ての記事を表示する

Archive Calendar

Now 2016'04

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

- - - - - 1 2

- ▶ BBC New 24
- ▶ BBC New 日本語
- ▶ Wall Street Journal
- ▶ The Huffington Post
- ▶ The New York Times
- ▶ Press TV
- ▶ sky
- ▶ RT
- ▶ The Moscow Times
- ▶ sputnik 日本
- ▶ English pravda
- ▶ Record China
- ▶ 大紀元
- ▶ アル・ジスルー-日本とパレスチナを結ぶ
- ▶ アフリカ大陸
- ▶ DailyNK

リンク11-未来学

- ▶ Edge.org

Translation (自動翻訳)

- English
 - 中文版
 - 한국어
 - Française
 - Deutsche
 - Italiana
 - Española
 - Portuguesa
- Powered by ウィンドウズの五手箱

ログイン

- ▶ 管理画面

QRコード



「静岡から琉球海溝まで一連のものとして動く可能性が、まだ残っている。今後の研究によって、そういうことがないということが分かれば、それで安心できるわけですが、現時点の情報からいけば、それを決定する情報は誰も持っていない」。

ナレーション:

海側のプレートが沈み込む南海トラフのプレートは、沖縄付近までつながっている。

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

メールフォーム

名前:

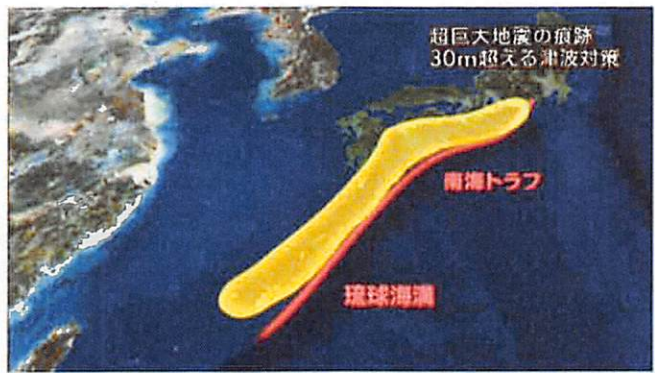
メール:

件名:

本文:



北側が南海トラフと呼ばれ、南側は琉球海溝と呼ばれているが、ひとつにつながっているため、超巨大地震が起きることも考えられるというのだ。



仮に、そんな超巨大地震が起きれば、三連動で想定される巨大津波が広範囲で発生する可能性がある。

琉球海溝に近い鹿児島県・喜界島。



過去に起きた巨大地震の痕跡として、津波で海底から打ち上げられたとされる岩も、転がっている。

山口豊アナ:

今、私の周り一面に広がっているのが、珊瑚の化石です。



この喜界島は、かつて海の底にあったんですが、度重なる大地震の影響で、島全体が隆起を繰り返した結果、今の形となりました。



ナレーション:

喜界島は、島全体が階段状の地形になっている。

もっとも高い場所は10万年前、海底だった。

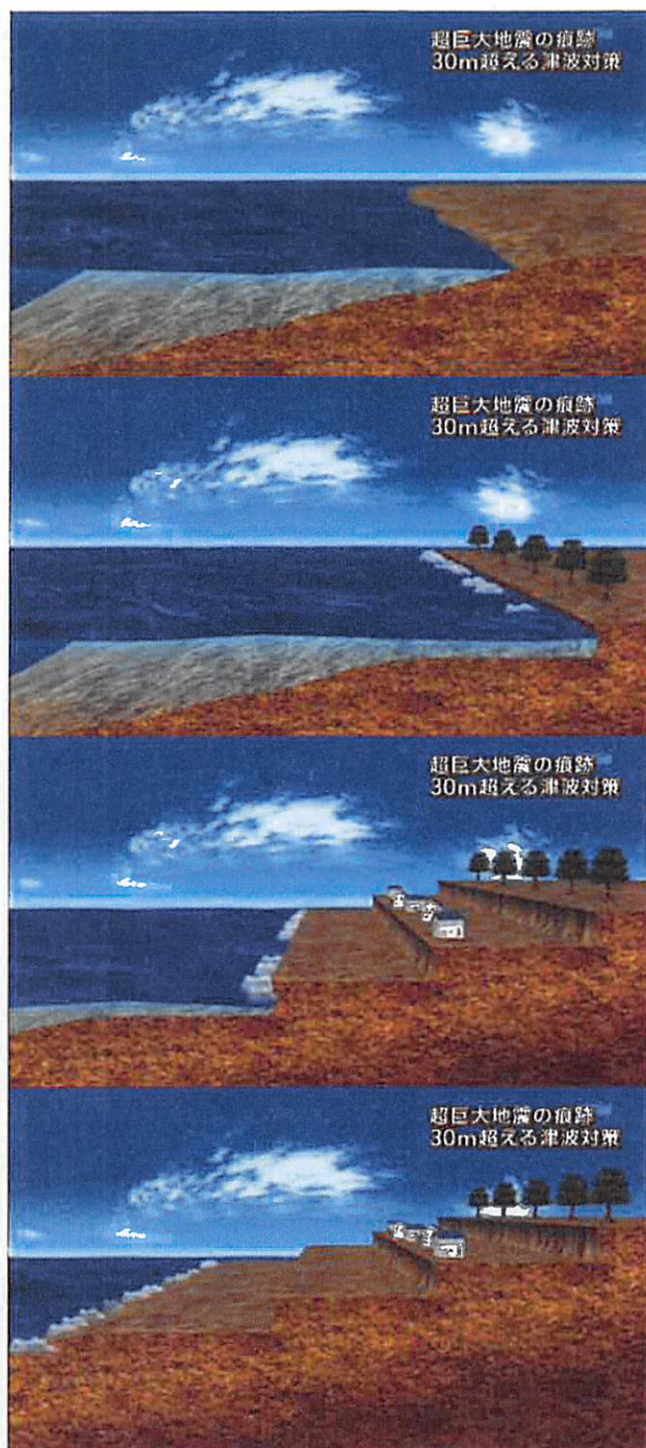
巨大地震が過去に100回ほど起き、その度に徐々に隆起した。



これは海岸段丘と呼ばれている。

大地震が起きて海底が隆起すると、海面近くは波に削られたり、珊瑚礁で平らな地形になる。

その後、また巨大地震が起きて海底が隆起すると、平らな面が数メートル持ち上がり、階段状の地形になる。



これが千数百年周期で繰り返され、今の地形になった。

海岸沿いでは、4つの段丘が確認されている。

ここは、およそ6300年前の海岸線。

3段目は4100年前。

2段目は3100年前。

もっとも新しい1段目は、1400年前にできたものだ。



山口豊アナ:

今、私の足元にあるのが1段目で、この先、2段目、3段目、4段目と連なっています。



度重なる大地震のたびに、次々と隆起していったことになります。

ナレーション:

地震で隆起した証拠は、海の中にあるはずの珊瑚が浸蝕されず、化石になって点在していること。



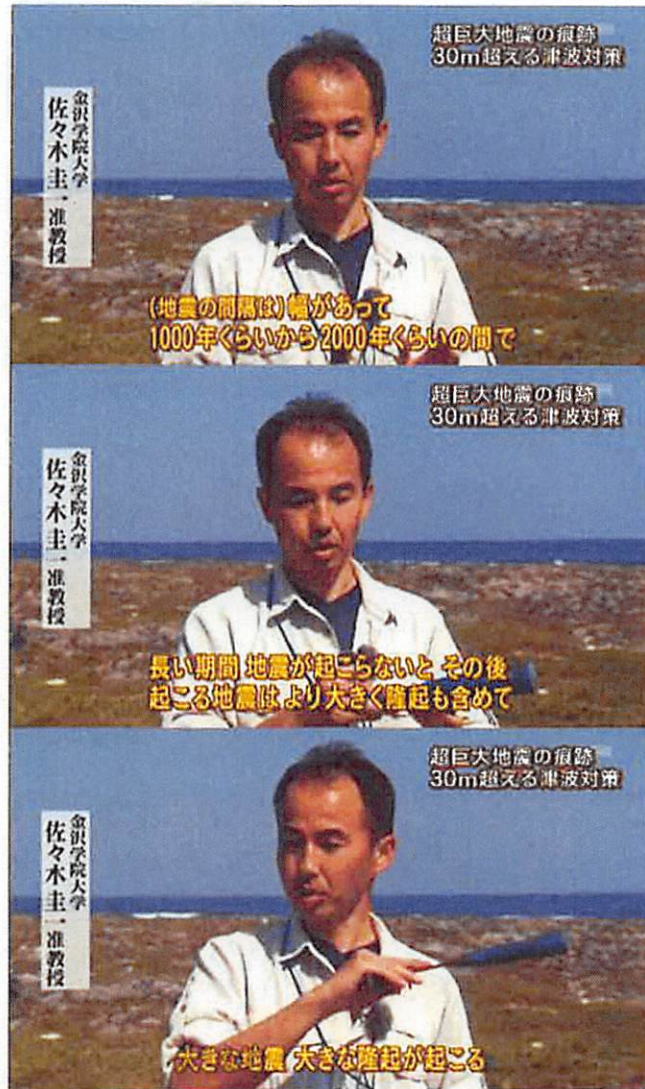
8年前のスマトラ島沖の地震でも、珊瑚礁が一気に隆起して陸地になった。

佐々木準教授は喜界島を調査している研究者の一人。

金沢学院大学

佐々木圭一准教授:

(地震の間隔は)幅があって、1000年から2000年くらいの間でなんですけれども、長い期間、地震が起こらないと、その後起きる地震はより大きく隆起も含めて大きな地震、大きな隆起が起こる。



ナレーション:

喜界島のように、地震で隆起した海岸段丘は、遠く離れた高知県の室戸岬でも見ることができる。



さらに室戸岬から、およそ400km離れた静岡県の御前崎でも、同じようにできていた。



琉球海溝近くの喜界島の海岸段丘は、南海トラフに近い室戸岬、御前崎でも見られるのだ。



離れた場所での段丘の類似性を調査した古本教授は、ある仮説を立てている。



古本宗充教授:

ほとんど同時期に起きているくらいに見える間隔で起きている。

それから、隆起量、そういうものが非常によく似ているので、それを御前崎から、少なくとも喜界島までわたるような大きな断層運動が一度に起きたということを言っているわけです。



山口豊アナ：
つまり、巨大な地震ということですか？

古本宗充教授：
そうです、僕ら、「超」巨大地震と呼んでいるんですが。



ナレーション:

この仮説は2004年のスマトラ島沖地震がきっかけだったという。



それは、スマトラの地震の震源域が、南北に1000kmを超えるほど巨大だったこと。

さらに、スマトラの震源域の海底の溝を古本教授が指摘する日本の震源域に重ね合わせる。

すると、長さや沈み込み方が似ていたのだ。



山口豊アナ:

超巨大地震が起きていたと想定して、どのくらいの周期で起きたと考えられるのでしょうか？

古本宗充教授:

6000年とか、7000年間で4回くらいですから、ざっと千数百年にいったん起きている。

それは御前崎でも同じだし、室戸岬でもそうなんですけど、いちばん新しい隆起が起きたのが千数百年前くらいと測定されていますので、それが繰り返すとすれば、今日、明日ということはないとしても、そろそろ同じくらいの間隔になってしまった。





ナレーション:

こうした地形だけでなく、超巨大地震が起きた痕跡は、日本各地で発見されている。

高知県土佐市の蟹ヶ池。
ここから、およそ2000年前の津波堆積物が見つかった。



これは、池の底を掘って、地層を抜き出したもの。



高知大学・総合研究センター

岡村真特任教授

実は、これ縦なんです。資料としては上下の下ほど古くて、上が新しい。



ナレーション:

上が3連動地震とされる1707年の宝永地震の津波堆積物。

下が、2000年前の堆積物で、その厚さは宝永地震の4倍ほどあった。



本州最南端、和歌山県の串本町。



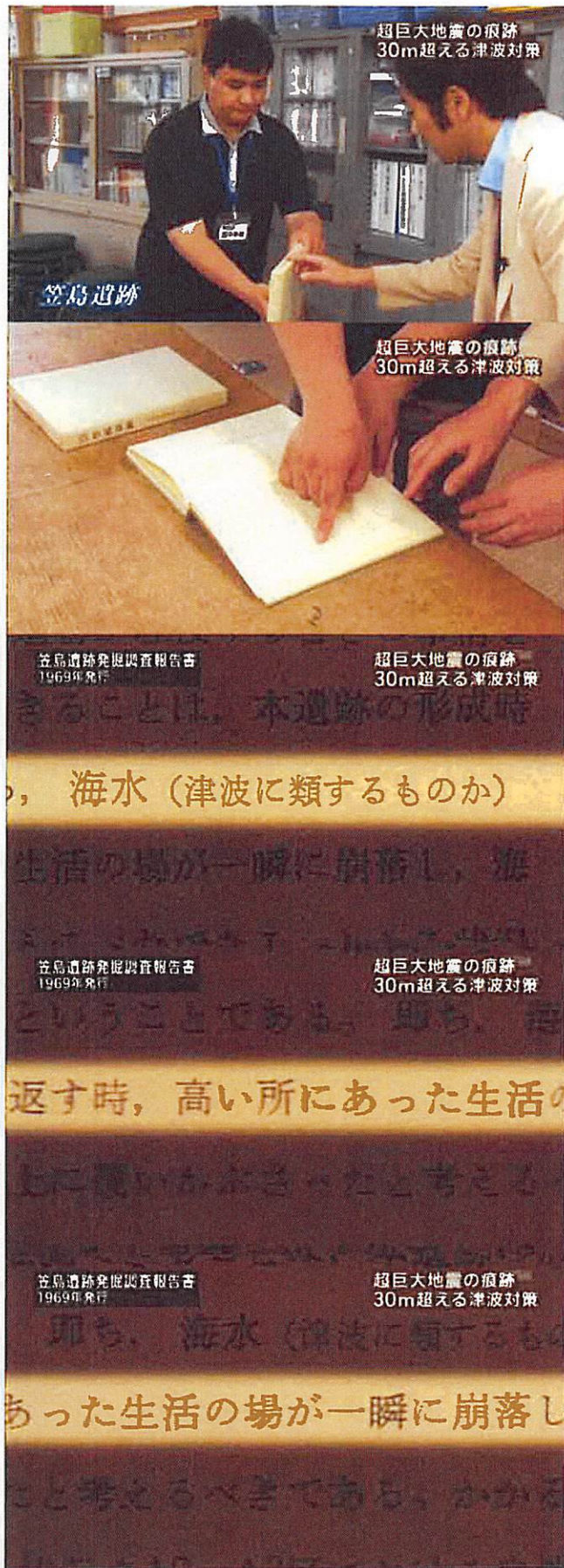
ここで、弥生時代に大津波が襲った可能性がある痕跡が見つかった。
いる。

これは発掘調査した当時の報告書。

山口豊アナ:

「笠島遺跡」と書いてあります。

「海水(津波に類するものか)が北西から押し寄せ、引き返すとき、高いところにあった生活の場が一瞬に崩落」って書いてありますね。



ナレーション:
その遺跡は、グラウンドの拡張工事で見つかった。



写真には、弥生時代の船の船底が写っている。
この船と崩れた家の柱などが、同じ方向を向いていたことから、津波が来たと考えられている。

仮に静岡から沖縄にいたる超巨大地震が起きれば、大津波が沿岸を襲う。



では現在、どのような対策が取られているのか。

東日本大震災後、強度の高い鋼鉄の杭を打ち込んだ防潮堤が増えている。
地下20m以上、杭を打ち込むことで、津波に絶えられる構造になっているのだ。



一方、手前の杭式は崩れないため、陸側に入り込む水量を少なく抑えることができるのだ。

早稲田大学工学部

濱田政則教授



従来のものに比べて、津波の勢い、それから水の深さ、こういうものを大幅に減少しますから、逃げる時間が稼げるとか、(防潮堤の)後ろにある建物が津波で流出するとか、そういうことを防げる。

山口豊アナ:

また、高知市では、避難路の整備を進めている。



高台が近いところは、できるだけ早く上れるようにと市内全域で整備する計画だ。

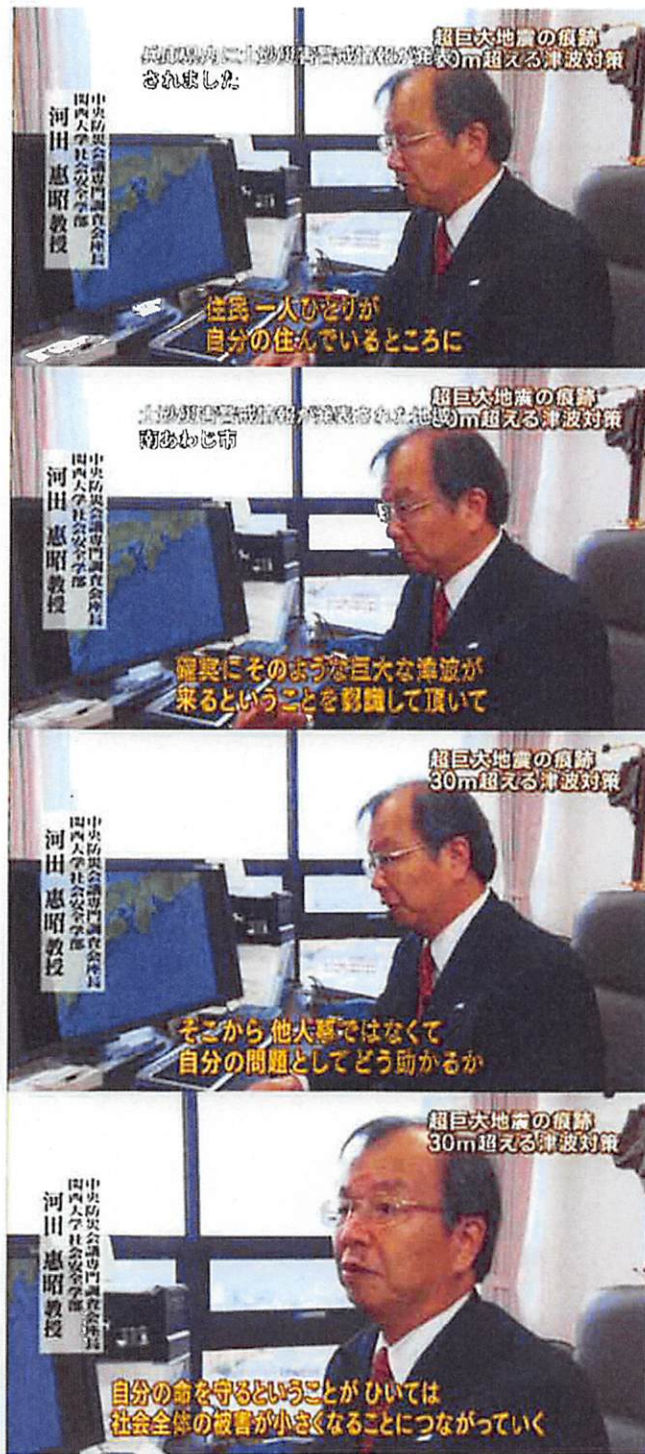
一方、高台がない地区では、地下へ避難することも検討されている。津波シェルターを地面の下に造る、というものだ。



ただ、酸素の供給やコストが高いなど課題は多い。

河田 憲昭教授

住民ひとりひとりが、自分の住んでいるところに確実に、そのような巨大な津波が来るということを認識していただいて、そこから他人事ではなく、自分の問題として、どう助かるかと。



自分の命を守るということが、ひいては社会全体の被害が小さくなる、と
いうことにつながるということですね。

山口豊アナ:



そもそも南海トラフと琉球海溝との関連性なんですけど、琉球海溝に関しては、実は17世紀よりも古い地震や津波の痕跡を示す文書などが残っていないために、これまでは地震の空白域と見られていたんですね。

それが最近の調査によりまして、琉球海溝の一部でも南海トラフの歪みが溜まっているということが分かってきました。

この写真は宮古島で撮られた津波石なんですね。



津波によって打ち上げられた巨大な岩なんですけど、これが2200～2300年前のものであることが東京大学などの調査で分かってきました。

それ以降も、数百年間隔で打ち上げられていることも分かってきたんですね。

ですから、琉球海溝の地震、そして南海トラフとの関係を、もっと詳しく調べる必要があると専門家は指摘しているんですね。

やっぱり対策をどうするかなんですけど、いちばん大事なのは、やっぱり逃げることでしょね。

ですが、日本では平野も多くて逃げる場所がない、高台がない場所もたくさんあります。

それから、御年寄りや足の不自由な方。

南海トラフ沿いでは、津波は5分から10分で来るところもありますから、そういう方のために、最悪の場合には、この冒頭に出てきました救命艇ですね、これに乗り込んでもらって、荒波に飲まれますが、GPSで後ほど発見してもらって救助するということが検討が始まっているんですね。

管理人：

地震予知は存在しない。発震までのトレンドが 強くなっている兆候を見逃さないこと

政府は、地震、津波、原発事故などの災害を予測する研究が「ほとんど役に立たなかった」ことを科学技術白書の中で認めました。

SPEEDIIにしても、今まで、いったい、どれだけの税金を注ぎ込んできたとか。

学者のおモチヤにしては高くつきました。

学者の権威・信用は地に落ちたといえるでしょう。「いつまで税金で遊んでいるんだ」と。

実際に、東大地震研は、今や「金くい虫」と揶揄され、気象庁でさえも、3.11の大津波の高さを「3m」と各自治体に伝えて、大勢の人々を津波にさらわせたのです。

それどころか、3.11直前の数日、マグニチュード6レベルの地震が東北沖で立て続けに起こっていたのに、これを巨大地震の前震と捉えることができず、人々に何の警告も発することはありませんでした。

なぜ、こうした人たちは、「自分たちには地震を予知する能力などありません」と素直に言わなかったのか。

最初からそうしていれば、死ななくていい何千という人たちが犠牲になることはなかったでしょう。

しかし、彼らは何の処罰も受けないのです。

東大地震研究所が、長年、研究してきた結論が、「M7級の地震は全国どこでも起こりうる」ということだそうす。東大地震研究所も、自分たちには予知できない、と白状したのです。

だから、これからも「予知できないのです」。

ネットの中には、地震予知に関するサイトが多数ありますが、そのうち、実地調査を踏まえた上で科学的な考察を経たものは、片手に余るほど少ないのです。

しかし、希望は大いにあります。

3.11を例にとっても、直前に東北地方で巨大地震が起こることを、かなり正確に予測していたサイトが、実際にいくつかあったからです。

それらのサイトは、大気重力波、地中からのイオン濃度、天候や動物の行動異常など宏观現象などを組み合わせ総合的に判断しているものです。

そうした人たちは、それでご飯を食べている地震予知の専門家ではありませんが、閉鎖的で権威主義の学会や使い古された過去の学説に捉われることなく、必要な情報を自由に集め、自分で測定装置を開発して予知に利用していた発想力の豊かな人々です。

私の昔からの結論は、「地震予知は、それを研究している本人しかできない」です。

こうした発想力の豊かなアマチュア地震研究家は、発震に向けて、トレンドがどんどん強くなっていることは、ほぼ正確に知ることができると思います。

しかし、問題は、その人が、それを分かる形で外に警告を発するかどうかです。

また、そうした人たちの警告を聞いたとしても、再度、防災の点検を行わないのであれば意味がありません。それは、個人の意識によります。

そうした自らの行動で表すようになるためには、日頃から地震について研究していなければできないことです。

ですから、「地震予知は、それを研究している本人しかできない」のです。

で、結局、「トレンドが、どのくらい強くなってきているか」を知り、個々で準備する以外にない、というのが地震防災の結論です。

危険なのは、国に対する期待を必要以上に持たないことです。

まして、地震予知オカルトサイト(エンタティメントとしては面白いのですが)の予知など鵜呑みにしないことです。

3M スリーエム 8233 N100 防塵マスク 世界最高水準(99.9%以上の捕集効率)5枚 放射能物質対応

アメリカ発

6,180円 配送無料



FC2
Blog+Ranking

198 198 198 ツイート いいね! シェア 16

関連記事

- ・九州M8クラスの直下型は巨大地震になる可能性 (02/23)
- ・「琵琶湖周辺で大きな地震の準備がされている」(12/18)
- ・日米の地震予測サイトともに「最高レベルの警戒を」(12/11)
- ・地震予知連絡会の教授:「M10までは起こる可能性がある」(12/09)
- ・南海トラフー琉球海溝・30mの津波の超巨大地震の可能性 (06/23)
- ・4号機の破滅を防ぐには軍の出動を要請するしかない (05/26)
- ・ヨーロッパ議会によると「HAARPは国際法違反である」(02/23)
- ・東日本大震災直前に現われた不思議な熱のリング (02/21)
- ・やや地震発生確率が高くなっているようです (02/20)

NEXT Entry

原子力基本法、宇宙機構法が同時改正・軍事利用に傾斜

NEW Topics

安倍晋三、菅義偉が「激甚災害指定」しない理由
4月15日、参議院で“国民発言禁止法”が可決・成立
ネット署名！共産党、民進党「川内原発・即時停止申し入れ」
熊本県の支援要請を拒否し、激甚災害指定しない安倍晋三
安倍・河野の「全避難者の屋内避難」が犠牲者を増やした！
熊本大地震のさなかパーティーにふける安倍内閣の閣僚たち
震源は東に移動して四国にまで及ぶのかだろうか
頭の体操—「四国電力・いよく原発はどこにある？」
安倍政権は「熊本巨大地震」をも利用する“血のナチス”政権
「九州でM8クラスの直下型巨大地震が起こる」と予測していた

九州新幹線が脱線するも川内原発は停止させず
午後9時26分 九州・熊本市 震度7
田母神逮捕からバナマ文書全公開、そして安倍政権の崩壊
「報道ステーション？なーに、そのうち慣れて来るさ」
トランプ「避けられない財政ハルマゲドンが迫っている」と断言

[PREV](#)

[Home](#)

[NEXT](#)

[Page Top](#)

信じられないけれど現実になっている世界へ

Copyright © カレイドスコープ All Rights Reserved

Powered by FC2 Blog | | Template Design by スタンダード・デザインラボ